

小松市都市デザイン

Komatsu Design for the Future

「新たなライフスタイルへの変革」と「まちのブランド力向上」を

小 松 市

(平成27年10月 1 日制定)

I. 序章

1 目的

「小松市都市デザイン」は、本市における新しい時代にふさわしいまちづくりの方向性を示す指針として定めるものです。

2 期間

目標年次は、「平成37年度（西暦2025年度）」とします。

3 目標

平成37年度の人口目標を、「10万5千人以上」とします。

サブ目標

- ・たくましい成長を引っばる「活力人口」を、6万人以上
（15歳以上65歳未満の人口）
- ・健康長寿の「いきいきシニア率」を、75%以上
（75歳以上で介護認定を受けていない人の割合）
- ・20歳未満（未成年者）人口を、2万人キープ

Ⅱ. 本章

1 都市デザイン

北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」

人口減少や超高齢化、グローバル化等、社会変化や時代変化を先取りし、「新たなライフスタイルへの変革」と「まちのブランド力向上」に取り組みます。とくに、本市の持続的な成長と市民一人ひとりの満足度・幸福度を追求し、「北陸の際立ったまち『国際都市こまつ』」に向かって、ふるさとを未来につなぎます。

2 4つの視点と8つの都市像

4つの視点と8つの都市像を掲げ、都市デザインの実現に向け取り組みます。

視点1

変革と成長しつづけるひととまち

—レボリューション—

- 都市像**
- ① 大交流時代の北陸の拠点として人びとが行き交います
 - ② 小松文化と世界のハーモニーで感性豊かなまちが育まれます

おもしろい

- ❖ 小松空港の充実や道路網の整備、北陸新幹線の小松開業により、空路・鉄道・道路等国内外との「アクセスが向上」します。さらに、このアクセスを活かし、空港や駅、その周辺等の魅力を高め、多くの人びとが集まる「おもしろいまち」をめざします。
- ❖ 産業の集積や恵まれた地域資源等の本市の特長を活かし、広域連携とグローバル化を進め、産業の振興、人材育成の強化により、広域が成長する中核市をめざします。
- ❖ 子供歌舞伎に代表される伝統文化を次世代に継承するとともに、歴史や自然、産業等地域資源の価値と魅力をさらに高め、交流の舞台に活かします。
- ❖ ビジネスや観光、教育等での交流をグローバルに拡大し、ひとやまちの感性を豊かにします。そして、交流を通して、新しい小松文化を創造します。

視点2

進化する科学技術が躍動するひととまち — イノベーション —

- 都市像** ③ 昔も今もこれからも
未来を拓く創造とサイエンスに富んだものづくりが小松市の象徴です
- ④ 環境と共生するスマートな暮らし方が日本中から評価されます

たくましい

- ❖ 技術開発や人材育成等によるイノベーションで、産業競争力を高めるとともに、新しい産業と価値を創出し、働く人びと、とくに、女性やシニアの働きやすい環境整備と産業バランスのとれた「たくましいまち」をめざします。
- ❖ 企業や大学等と連携した農林水産業の高度化と6次産業化を進めます。さらに、木質バイオマス活用など再生可能エネルギー推進により、豊かな自然環境の利活用と保全を両立します。
- ❖ 国内外交流が拡大する中、乗り物に代表されるものづくり技術や進化する伝統産業等、本市の強みを活かした「魅せる産業観光」を推進します。
- ❖ 情報通信やロボット等の新しい技術を、くらしやビジネスで利活用し、まちの利便性と快適性を高め、地球にもやさしい環境と共生する豊かな市民生活を実現します。

視点3

新たなライフスタイルを楽しむひととまち — ルネサンス —

- 都市像** ⑤ 予防先進を合言葉に
地域一体となってこちよいくらしを楽しみます
- ⑥ 里山・水辺に親しむ三世代の笑顔が小松の自慢です

こちよいくらし

- ❖ 高齢化が加速する中、介護や医療等の多様な分野で「予防」を重視した取り組みを広げ、健康長寿を進め、シニアが仕事や趣味で活躍できる「こちよいくらし」をめざします。
- ❖ 防災や減災、防犯等による安全・安心なくらしはもとより、出産・子育て環境や子どもたちの成長に応じたサポート体制を向上します。さらに、医療・福祉の充実、健康づくり等、家族みんながあんしんの「やさしいまち」を創ります。
- ❖ 木場潟や河川等の水郷を活かした親水空間、歴史や自然が豊かな里山での体験学習や交流活動、花・緑・水が美しい景観の形成等、住む人や訪れる人などすべての世代の人びとが、心豊かで笑顔あふれる「こちよいくらし」を共に創ります。

- 都市像** ⑦ 意欲的に学習や地域貢献に取り組む
はつらつとした人びとが世界でふるさとで輝きます
- ⑧ たくましい財政、市民から信頼される市役所が
小松市の持続と発展をリードします

はつらつ

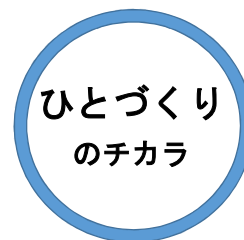
- ❖ 小中高の連携等を強め、幼児教育から高等教育、生涯学習まで「一貫した教育」に取り組む、「はつらつとしたひとづくり」を進めます。
とくに、大学教育の充実により、地元産業と医療福祉の人材育成、地域の活力向上をめざします。
- ❖ 教育立国に向け、理科・科学、日本文化、食育等、学校や地域で特色ある教育に取り組めます。さらに、産業や伝統文化、スポーツ、芸術等、多様な分野において、環境整備と育成システムを充実し、世界や全国の舞台上で活躍するひとを応援します。
- ❖ 財政の健全化は次世代への大切な約束ごとです。
また、市職員のレベルアップや機動的で身近な市組織づくり、そして、仕事の改革を実行し、市民から信頼される市役所をめざします。

3 2つの原動力

2つの原動力（エンジン）により、都市デザインの実現力を高めます。



- ❖ 本市の強みは、先人から受け継がれた市民力と地域の絆です。すべての個人及び団体が一体となり、オールこまつですばらしいふるさとを共に創り、次世代に引き渡します。



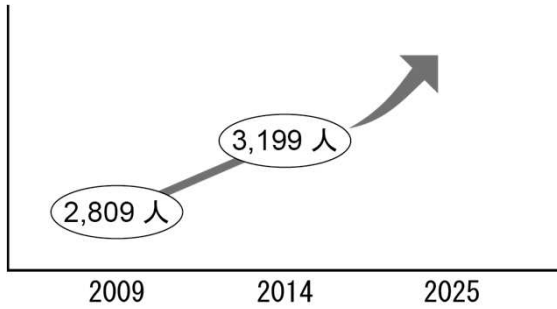
- ❖ まちの未来を創るのは「人とひと」です。たゆまない「ひとづくり」は最良のふるさとづくりです。この考えを最重視した取り組みを展開し、まち全体の底力を高めます。

【参考】

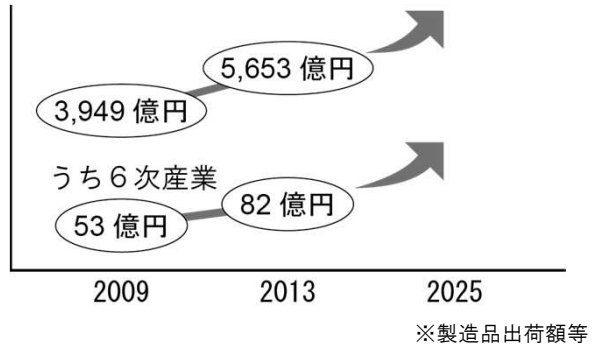
目標項目について

- ・都市デザインの実現に向けたまちづくりを進めるため、今後、目標項目及び目標値を設定していきます。（下に示す目標項目は検討段階であり、最終のものではありません）

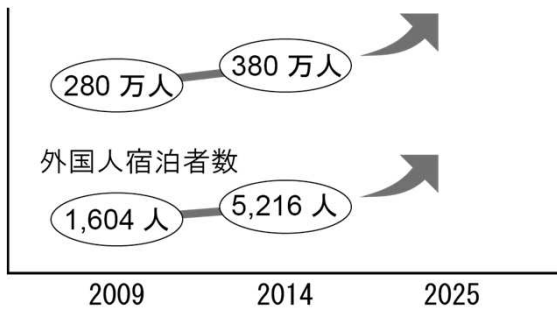
転入者数



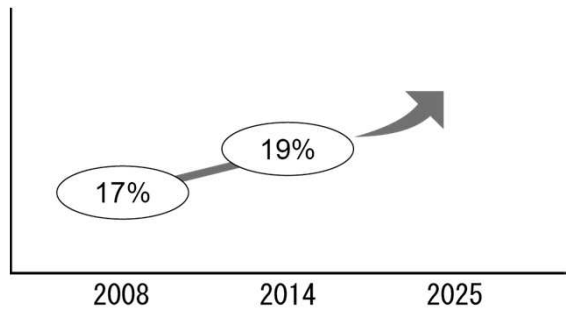
ものづくり産業力



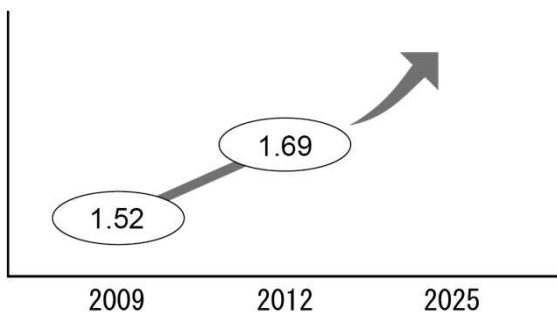
交流人口



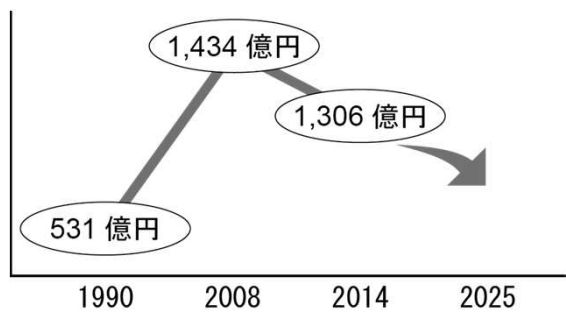
ごみリサイクル率



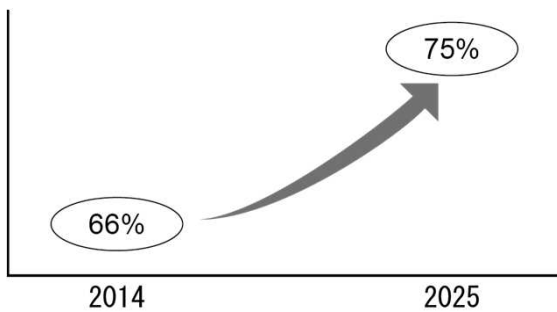
合計特殊出生率



市債残高

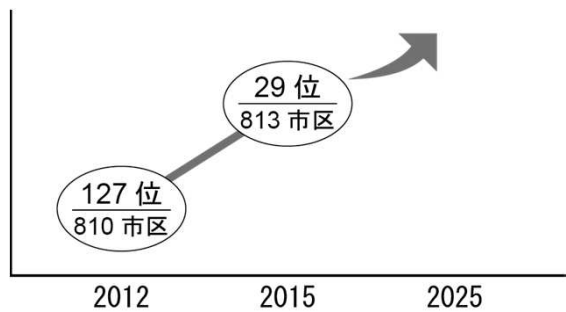


いきいきシニア率



※75歳以上で介護認定を受けていない人の割合

住みよさランク



※全国経済誌発表の自治体ランキング
順位付けには概ね過去3年のデータを活用